

寒さが一層厳しくなり、本格的な冬の冷え込みを感じる日々です。子どもたちは手洗い・うがい・消毒・換気・マスクの着用も意識しながら毎日元気に過ごす姿が見られております。ご家庭でもきちんと習慣づけて感染対策を行いコロナ禍を乗り越えてまいりましょう。

作品展の作品作りでは子どもたちも毎日楽しく作品作りに取り組みました。今年のテーマである『夢育』を元に、年長組では子どもたちの「やってみたい」「おもしろそう」という興味関心にひと工夫加えたものに挑戦し、実現できた喜びや達成感を感じながら作品を作る姿が見られます。今までの話し合いの経験を通して、自分たちでアイデアを出し合い、いろんな友だちの意見を取り入れながら新しい表現方法に出会い、子どもたちの豊かな表現力と学年全体でさらに一丸となる雰囲気や一人一人の成長に私たちも感動する場面が多々ありました。すべての作品に子どもたちのアイデアが込められていることから、子どもたちも『作品を作る』という感覚ではなく、楽しみながら作ったものを『作品展で飾りたい!』という意欲的な姿も見られました。



また、こんなに細かいところまで工夫した作品が作れるようになったことを、見ている方に伝えたい気持ちや笑顔になってほしい思いを込めて作っていることから、普段の保育にはない作品展での作品作りならではの集中力と真剣な表情が見られ、作品一つ一つに個性が溢れるどの作品も面白さと感動でいっぱいの笑顔になるものばかりです。保護者の皆様も是非楽しみにしててください。

3学期に入り、自分たちで考え、計画し、実現するという経験を、年長組で積み重ねてきた子どもたちからは今まで以上に成長を感じる毎日です。子ども園での生活も残り約1か月半。小学校生活へ期待と不安の入り混じる気持ちに寄り添いながら、自信を持って卒園の日を迎えられるよう保育してまいりたいと思います。 (年長組担任 福田莉子)

直前インフォメーション

※年間カレンダーと変更がございます。2月の予定表をご確認ください。

○作品展

2月5日(土) 詳細はホームページに載せておりますのでご確認ください。

2月7日(月) 作品展代休のため、短時間タイプの方はお休みとなります。

※4日(金) 作品展前日は登園日に変更になっております。

○バイキング

2月15日(火) 今年度はコロナ感染対策のため、バイキング形式では行いませんが、給食室より特別なメニューを提供していただきます。

○保護者会

2月26日(土) オンラインにて行います。詳細は、後日アップいたしますお手紙をご確認ください。

★2月22日(火) 卒園遠足の予定でしたが、日程を変更しての実施となりましたので、通常通りの登園日となります。



2月の目標

- ・友だちと協力して活動を進め、自分たちでできることに充実感を感じる
- ・卒園が近いことを知り、就学に期待を持ちながら、残りの園生活を楽しく過ごす



2月の歌

子ども園で歌っている歌です。

ご家庭でもお子様と一緒に歌ってみてくださいね。

♪ゆげのあさ

作詞：まど・みちお

作曲：宇賀神光利 編曲：三森桂子

1 おはよう おはよう ゆげがでる
はなから くちから ぽっぽっぽ ぽっぽっぽ
きしゃぽっぽみたいで ゆかいだな

2 こどもも おとなも ほらいぬも
はなから くちから ぽっぽっぽ ぽっぽっぽ
きしゃぽっぽみたいで ゆかいだな

3 おはよう おはよう みんなおいで
はなから くちから ぽっぽっぽ ぽっぽっぽ
きしゃぽっぽしゅっぽっぽで あそぼうよ

♪おにのパンツ

作詞：不詳

作曲：ルイジ・デンツァ 編曲：前田菜月

おにのパンツはいいパンツ
つよいぞ つよいぞ

トラのけがわでできている
つよいぞ つよいぞ

ごねんはいてもやぶれない
つよいぞ つよいぞ

じゅうねんはいてもやぶれない
つよいぞ つよいぞ

はこう はこう
おにのパンツ
はこう はこう
おにのパンツ

あなたも わたしも
あなたも わたしも
みんなではこう
おにのパンツ



2月の絵本

子どもたちが興味を持っている絵本

先生たちのおすすめの絵本を紹介いたします！

『泣いた赤鬼』

文：浜田 廣介 画：浦沢 直樹 出版社：小学館

いつの時代かどこの場所か、村人たちとどうしても仲良くなりたい気のいい赤鬼。だが村人は赤鬼のやさしさがわからず、怖がって逃げまわるばかり。斬新な世界観や、鬼や村人の豊かな表情、雄大な風景画に、これまでの赤鬼にない発見や感動が必ずあるはず。ぜひぜひ親子で読んでいただきたい素敵な一冊です。



食育について

給食の際に子どもたちに伝えていることをご紹介します。

ぜひ、ご家庭でも行ってくださいね。



2月3日は『節分』ですね。

節分とは、「季節を分ける」という意味で、つまり季節が変わる日のことを指します。

子どもたちとも節分の日に向けて、鬼のお面とマス作りを行っております。お面作りの説明をするときに『鬼』と聞いただけで表情が一変し、なんだか部屋の中が静まりかえりました。

「自分の中にいる悪い鬼を出せば大丈夫だよ」と言うものの、それでも固まる子どもたち。毎日シール帳にシールを貼っている時には、「もうすぐ鬼だ、、、」とつぶやく姿も見られています。

今年は、自分の中の悪い鬼と向き合い、出し切ることができるのでしょうか！

節分といえば、、

【豆まき】

- ・豆を投げる理由として、「魔物を滅する」（“ま”ものを“め”つする）という意味もあり、古くから魔除けに使われてきたようです。
- ・豆は豆でも煎った大豆を使う理由として、豆をいる時のパラパラという音を、鬼や魔物が嫌ったそうです。

【終鰯（ひいらぎいわし）】

- ・ヒイラギの枝に鰯の頭を指し、門や玄関に飾ります。これも『けがれ』が入ってこないよう、魔除けとしての習慣です。
- ・ヒイラギ・・・とげがあり触ると痛い
鰯の頭・・・鰯は臭うので鬼（魔物）が嫌がって寄ってこない
という意味があります。



【恵方巻】

- ・『恵方』とは、その年の福德を司る歳神様がおられる方角を指し、たたり神などの巡ってこない方角とされています。今年の方角は『北北西』です。（正確には北北西のやや北）
- ・恵方巻の具は一般的に7種類だそうです。この7種類は『七福神』に由来し、7種類の具材を巻いて体内に取り入れると福が来ると言われています。
また、その7種類の具材が巻かれていることから、『福を巻き込む』という願いも込められています。
- ・恵方巻はとても太くて長く切らずに食べますね。巻きずしを切らずに一本丸ごと食べることは、『縁を切らない』という意味が込められています。

一つ一つ込められている意味を知ると、行事もただ楽しむだけでなく意味のある行事になりますね。子どもたちとも是非その行事について話し合ってみてくださいね。

家族みんなで7種類の好きな具いっばいの恵方巻を作って、今年の幸せを願いながら体の中を『福』でいっぱいにしましょう♪